

トピックス

■【なんば】南海難波駅に新サインージ登場予定！

2018年4月2日から放映開始予定のデジタルサインージが南海難波駅に登場する。媒体は2エリア新設予定で、コンコース3階北改札とB1階高島屋入口前に設置される。

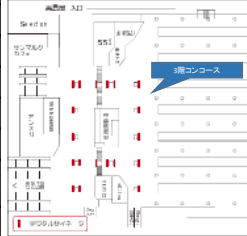
なんばエリアのインバウンド増加や広告媒体におけるデジタル化に即している。南海難波駅の1日平均乗降人員は25万人(2016年度)でミナミの玄関口となっている。



掲出場所	南海なんば駅3階北改札付近 19面			南海なんば駅と大阪地下鉄の連絡通路 24面		
種別	液晶マルチビジョン (動画・静止画)			液晶マルチビジョン (動画・静止画)		
サイズ・面数	約70インチ縦型			約70インチ縦型		
放映開始日	月曜日			月曜日		
放映形態	1社貫切	単枠 (1枠15秒)		1社貫切	単枠 (1枠15秒)	
放映期間	1週間	1週間 (1枠)	1週間 (2枠)	1週間	1週間 (1枠)	1週間 (2枠)
広告料金 (税別)	¥2,900,000 -	¥200,000-	¥350,000-	¥4,500,000 -	¥300,000-	¥550,000-
設定枠数	1枠	1枠15秒×24枠/6分ロール		1枠	1枠15秒×24枠/6分ロール	

▲B1階高島屋入口前

▲3階コンコース



▲媒体位置図

■【道頓堀】ドン・キホーテ道頓堀店 大観覧車リニューアルオープン！

「ドン・キホーテ道頓堀店(大阪府大阪市中央区)」に設置した大観覧車『えびすタワー』が2018年1月19日(金)にリニューアルオープンした。2005年にオープンしたドン・キホーテ道頓堀店のシンボルである道頓堀大観覧車、通称『えびすタワー』は、建物の形状に沿った長円形の空中遊覧設備で、水平回転する世界初の観覧車。

同店のオープン以降、『えびすタワー』は道頓堀のランドマークとして親しまれ、大阪ミナミの繁華街名物である看板の一つに名を連ねていた。しかしながら、2008年、メンテナンスを依頼していた会社が請け負った他観覧車の不具合が発覚し、『えびすタワー』に直接不具合は生じていなかったが運転を見合わせていた。

今回、道頓堀周辺の観光客の増加に伴い、『えびすタワー』に寄せられた「観覧車に乗ってみたい」、「動かしてほしい」という要望を受け、道頓堀界隈の更なる発展に寄与すべく、観覧車の運転を復活する運びとなった。

『えびすタワー』の観覧スタイルは店舗を背に道頓堀川を臨むベンチシートで、乗車後に180度水平回転をするゴンドラが特徴だ。最高到達点からは、お膝元の道頓堀の華やかな街並みから、遠くあべのハルカスの先まで見渡すことができる。

■施設概要

- 名称：道頓堀大観覧車『えびすタワー』
- 営業時間：午前11時～午後11時
- 営業日：年中無休※1
- 所在地：大阪市中央区宗右衛門町7番13号
- 搭乗口：ドン・キホーテ道頓堀店3階
- 最高頂：77.4m
- ゴンドラ数：32台
- 所要時間：約15分
- 料金：通常バス 600円
- majicaのバス※2 1,000円
- ※1荒天等により休止になる可能性があります
- ※2ドン・キホーテオリジナル電子マネー「majica」会員向けの予約制搭乗バスポート



▲ゴンドラ内の様子



▲えびすタワー外観

■【大阪地下鉄】4月1日より民営化

2018年4月1日より、大阪市営地下鉄は大阪市高速電気軌道(株)に、大阪市バスは大阪シティバス(株)に社名変更し、民営化する。利用者にとっては今までのサービスの質が下がるというよりも現状のサービスを維持しながら、利便性が向上する取り組みに期待される。

市営時代より取り組んできた駅構内トイレの改装においては、民営化後も順次リニューアルを実施予定だ。

可動式ホーム策の整備に関しても、2019年度中には谷町線東梅田駅、堺筋線堺筋本町駅で設置予定で、御堂筋線全駅設置も目指す予定だ。

ホームにおける見守りも強化される見込みで、視覚障がいのある方へのサポートや乗降者数が10万人以上の駅には、駅業務補助要員を配置する。

防犯対策も徹底して推進予定で、防犯カメラの設置強化や新たに車内にも防犯カメラを設置予定だ。(2018年度に試験導入予定)

また、民営化に際し、多様な事業展開も検討されており、たとえば、不動産事業・ホテル事業、高齢者・子育て支援事業などを展開し、新たな収益を見込む予定だ。

なお、1月25日、愛称が決まり、「Osaka Metro(読み:オオサカメトロ)」に決定した。



▲osakametro新ロゴマーク



▲地下鉄・バス民営化告知リーフレット表紙

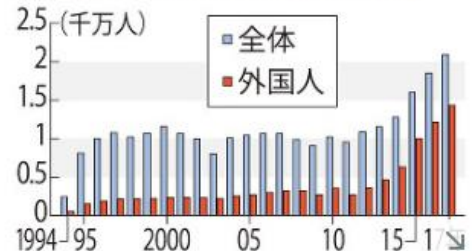
■【関西空港】出入国数 過去最高 初の2000万人超え

大阪入国管理局関西空港支局は11日、2017年の関西国際空港の出入国者数(速報値)が2090万3360人に達し、1994年の開港以来、最多となったと発表した。前年比13%増で、2000万人を突破したのは初めて。内訳は、日本人661万4850人、外国人1428万8510人。外国人の入国者数は716万2310人で、初めて年間700万人を超えた。

年末年始(2017年12月22日～2018年1月3日)の出入国者数(速報値)も前年比16%増の84万480人と、過去最多を記録。うち外国人は前年比25%増の55万780人で、全体の3分の2を占めた。同支局は「LCC(格安航空会社)の増便が要因」と分析している。

出国者の渡航先は韓国が12万4500人と最も多く、中国8万8630人、東南アジア7万2420人と続いた。大半は帰国する外国人旅行者とみられる。

関西国際空港の出入国者数推移



関西国際空港の出入国者数推移